

令和4年度新潟県内3国立大学法人工事入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	令和 4年11月 1日（火） 新潟大学松風会館第2会議室	
委員	委員長 平山 桂子（平山建築設計事務所 建築士） 委員 山田 寿（山田寿法律事務所 弁護士） 委員 内山 智絵（内山会計事務所 公認会計士） ※内山委員はリモート参加。	
審議対象期間	令和3年7月1日～令和4年6月30日	
抽出案件（合計）	5件	（備考） 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
建設工事（小計）	4件	
一般競争入札 （政府調達に関する協定適用対象工事）	0件	
一般競争入札（上記工事を除く）	3件	
工事希望型競争入札	0件	
通常指名競争入札	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務（小計）	1件	
簡易公募型プロポーザル方式（拡大）	0件	
標準型プロポーザル方式	0件	
最低価格落札方式	1件	
随意契約	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申または勧告の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>議事に先立ち、資料確認、新潟大学施設管理部長の挨拶のあと、委員の紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より、委員会実施要項第 3 条第 1 項により、委員を 3 名以上として組織することとなった。 ・委員会実施要項第 5 条により、委員の互選により平山委員が委員長に選任された。 <p>議題 1、議題 2 について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約対象期間は令和 3 年 7 月 1 日から令和 4 年 6 月 30 日に契約した建設工事及び設計コンサルティング業務の審議対象工事案件が対象。 ・対象契約件数、契約状況、抽出要件等の説明。 	
<p>抽出案件の審議</p> <p>「①新潟大学（旭町）図書館改修その他工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7 者参加で 1 者のみが予定価格の範囲以内の入札価格だったとのことだが、具体的にどの項目の違いが大きかったなどは把握しているか。 ・あまりにも単価の違いが大きい場合、調査を行うのか。 ・「施工体制評価点の低い者に対しては、加算点を減ずる場合がある。」との記述があるが、具体にはどのような場合があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入札に先立って各社から内訳書を徴しており、参考数量も公開している。違いが大きいのは仮設費や共通費の差が大きいものと理解している。 ・総額での契約ではあるが、確認として業者に聞くことはある。 ・ダンピング防止対策の一環として、施工体制を確認することにしており、低入札の場合は評価を行うことになる。

意見・質問	回 答
<ul style="list-style-type: none"> ・今回、1 者を競争参加資格なしとされているが、どのような項目を満たしていなかったのか。 ・業者側は十分な準備をして入札に参加希望しているものとするが、一見して確認できる事項なのか、あるいは読み込む必要がある事項なのか。 ・どのような方法で競争参加資格なしの意思決定を行っているか。 ・総合評価委員会、技術審査委員会はどのようなメンバーで構成されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学が求めた施工実績を有していなかったもの。 ・今回は 1,500 m²以上の改修工事施工実績を求めたが、競争参加資格なしとした業者からは、建物全体の延床面積での申請があったが改修施工面積の実績が不足していたため、確認した上で競争参加資格なしとした。 ・本件では競争参加資格審査委員会で意思決定している。 ・学内者及び必要に応じて、学外の学識経験者として長岡技術科学大学、上越教育大学が参加している。
<p>「②新潟大学（西大畑）附属新潟小中学校給水ポンプユニット更新工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格と入札金額の大きな違いは何か。 ・大学が調査したポンプメーカーと同じメーカーで契約されたのか。 ・大学でもメーカーに価格調査を行うのか。 ・答えてくれるものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工種の少ない工事であるが、製品価格に大きな差異があった。施工業者と製品仕入れ先との間の長年の信用度などによって納入可能な単価設定がされたものとする。経費率についても確認したが、こちらは大学積算の経費率と大きな差はなかったため、製品価格の差が経費にも影響し、全体としては大きな差異が生じたと考えている。 ・同じである。 ・行っている。 ・実勢価格を調査するためとして、回答いただいている。

意見・質問	回 答
<p>「③新潟大学（五十嵐）情報基盤センター A棟 Z E B R e a d y 化改修実施設計業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Z E B R e a d y 工事とはどのようなものか。 ・ 具体的にはどのように取り組むのか。 ・ 想定していた設計会社は何社程度だったか。 ・ 契約の一覧に B 棟 Z E B R e a d y 化もあるようだが、こちらは複数社の参加があったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物の基準一次エネルギー消費量の 50% 削減を目標とする工事である。 ・ 照明設備の LED 化、高効率空調の導入、建物の断熱等である。 ・ 設計業務については、地域要件を求めず全国が対象となるため、参加業者数の想定はしていなかった。 ・ 教育学系 B 棟の方は、複数社応札があった。こちらは事業規模が大きかったことからポータル方式とした。同時期の発注であったことから、契約規模の小さい情報学系 A 棟は最低価格落札方式とし、できるだけ多くの参加を期待したが、結果として 1 者しか参加いただけなかった。
<p>「④長岡技術 科学大学（上富岡町）ライフライン 再生Ⅱ（消雪設備）工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料に事故歴との表示があるが、過去に修繕をされた業者は図面のダウンロードとはしてくれなかったのか。 ・ 昨年の本委員会でも本件と同様の案件が審議されたが、工事場所は隣接しているのか。 ・ 前回施工された業者さんを使われたの 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確認はしていないが、少額の工事では技術者の配置も不要であるなど入札案件とは異なるので、結果として本件ではダウンロード業者数も少なかった。 ・ キャンパス全体で 3 期計画とし、昨年の審議案件は 1 期目、今回の審議案件は 2 期目、現在 3 期目を施工中で、これで全学完了と考えている。1 期目はコロナ関係で手続き等遅延、2 期目は 3.5 か月程度前倒してきたが、それでも業者に恵まれなかった。 ・ ご指摘のとおり。

意見・質問	回 答
<p>か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者を見つけるのも大変ですね。 <p>「⑤上越教育大学総合研究棟（人文系）改修電気設備工事（Ⅱ期）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札に参加されている業者さんは慣れていらっしゃるということか。 <p>その他</p> <p>司会より、再苦情処理の申し立てについては、該当案件なしとの報告があった。</p> <p>（講評事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の審議案件について、特に指摘事項はない。入札業者や落札等大変な時代だが、これからもよろしくお願ひしたい。 <p>資料の事前送付については、委員が内容を正確に把握するため、できるだけ早期に郵送で送付いただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村に競争参加資格登録している業者数と文部科学省に競争参加登録している業者数が大きく違う。手続き等制度面でも難しいことであろうかと、普段の少額随契案件から新規業者を開拓するよう努めている。 <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に大学に出入りしている業者なので、大学のことはよくわかっていると理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・資料の早期送付については、ご指摘どおりなので、今後は、できるだけ早期に資料を送付できるよう、全体的なスケジュールを見直していく。